

第4節 主催事業

(1) 学校利用指導者研修会

① 目的

効果的な利用を図るため、望ましい計画の立て方や研修活動のすすめ方などについて研修し、協議する。また、実技研修を通して、指導技術の向上を図る。

② 期日・対象者及び参加者数

○ 第1回

昭和63年4月19日～20日 対象36校 参加者33名
(昭和63年6月7日～7月15日の利用校)

○ 第2回

昭和63年6月22日～23日 対象39校 参加者33名
(昭和63年8月30日～平成元年2月16日の利用校)

○ 第3回 第2回に含めて実施

○ 第4回

平成元年2月22日～23日 対象40校 参加者34名
(平成元年4月12日～6月3日の利用校)

③ 研修内容

- 講義 ・宿泊研修及び野外活動の必要性
・宿泊研修の指導のあり方と諸手続き
- 実技・演習 野外活動・キャンプファイヤーの演出・プログラム作成・諸役割配当等

(2) 少年団体等利用指導者研修会

① 目的

利用の効果を高めるため、研修計画立案の方法や研修のすすめ方などについて研修・協議を行い、実技研修により指導技術の向上を図る。

② 期日・対象者及び参加者数

- 期日 昭和63年6月4日～5日
- 対象 利用団体の指導者 参加者33名

③ 研修内容

- 全体会 入所に必要な手続きと準備等
- 実技 複合野外ゲーム(フィールドワーク等)
- 講演 キャンプファイヤー、プログラミング等
- その他 施設見学、実地踏査

(3) レクリエーション実技指導者研修会

① 目的

青少年教育に携わる指導者を対象にレクリエーション実技指導者の技術向上を図るため、実技に関する基礎的知識や技能の指導法について研修し、資質の向上を図る。

② 期日・対象者及び参加者数

- 期日 昭和63年8月4日～7日(3泊4日)
- 対象 県内の高校生・大学生・社会教育関係者
学校教育関係者の初心者 参加者55名

③ 研修内容

- 理論 レクリエーション指導者のあり方、公民館のレクリエーション活動
- 実技 セラピューテックレクリエーション、つどいに生かせるレクソング、手軽にできるマジック、手軽にできるレクスポーツ
- 演習 交歓のつどい

(4) 自然に鍛える少年のつどい

① 目的

夏の大自然の中で、キャンプ生活や野外活動を通してたくましく(自主的・自律的)生活できるようにし、併せてリーダーの素地を養う。

② 期日・対象及び参加者数

- 期日 昭和63年7月28日～31日(3泊4日)
- 対象 県内小・中学校より推薦され、又は公募した5年生以上の児童・生徒 参加者40名

③ 研修内容

- すまい作り ○ 野外炊事 ○ 登山(三森峠～御霊櫃峠間14km縦走) ○ ウォークラリー ○ 国別会議(班を国と呼ぶ) ○ ドラム缶風呂 ○ お祭り(夜店、ボン・ファイヤー) ○ すまい撤収 ○ お別れパーティー

(5) 親子キャンプのつどい

① 目的

テントによるキャンプ生活や野外活動、キャンプファイヤーを囲んでの楽しい語らいを通して、親子のふれあい・他家族との交流・親睦を図る。

② 期日・対象及び参加者数

- 期日 昭和63年7月22日～24日(2泊3日)
- 対象 県内の小・中学生とその親、成人を含む
数人単位のグループ 参加者82名

③ 研修内容

- テント設営・撤収 ○ 野外炊事 ○ 交歓のつどい
○ フィールドワーク ○ キャンプファイヤー

(6) 秋の自然に親しむ親子のつどい

① 目的

野外活動を通して、秋の自然に親しみながら、親子のふれあいを深め、他家族との交流・親睦を図る。

② 期日・対象及び参加者数

- 期日 昭和63年10月22日～23日(1泊2日)
- 対象 県内の小・中学生とその親、成人を含む
数人単位のグループ 参加者77名

③ 研修内容

- いも煮会 ○ 親子ラリー ○ キャンドルファイヤー

(7) 親子雪のつどい

① 目的

冬の厳しい自然の中で、そり遊びなどの野外活動を通して、寒さを克服する強い体と意志を鍛える。また、もちつき、ゲーム・ダンスなどを楽しみながら、親子のふれあいを深め他家族との交流・親睦を図る。

② 期日・対象及び参加者数

- 期日 平成元年2月4日～5日(1泊2日)
- 対象 県内の小・中学生とその親、成人を含む
数人単位のグループ 参加者127名

③ 研修内容

- 交歓のつどい ○ そり遊び ○ もちつき大会